

科目名	くらしと財政(財政学)		担当者名	岡田裕二(オカダユウジ)	
開講年次	2	開講時期	後期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	必修	単位数	2
ナンバリング	C0020	該当DP	DP2,DP3		
授業概要	日本の財政は構造的な課題を抱え非常に厳しい状況にあります。 この講義では、まず財政の基礎的なことを学んだ後に、応用として財務省の広報資料を使いながら、財政が抱える課題について知識と理解を深めます。そして日本の財政の課題がこれから自分の身の回りでどのように関わってくるのかを考えます。				
到達目標	1. 新聞やテレビで報道される、財政赤字や国債の発行増、社会保障費増大といった諸問題について人と語れるようになること。 2. 財政問題が、自分の今又はこれから先の社会人としての生活の中で、どのように影響してくるかを自分で考えることができるようになること。				
授業計画	回	授業内容		授業外学習(内容と時間)	
	1	基礎 1. 財政とは? 2. 経済活動と政府 3. 政府の役割		授業後に配布資料を復習	30分
	2	基礎 4. 日本の財政の仕組みと現状		授業後に配布資料を復習	30分
	3	基礎 5. 増える社会保障費		授業後に配布資料を復習	30分
	4	基礎 6. 国債とは? 基礎振り返り		復習	30分
	5	応用 1. 財政と日本の課題 2. 財政とは 3. 予算はどのような分野につかわれて		教科書①P1~4予習復習	30分
	6	応用 5. どのくらい借金に依存してきたのか 6. 日本の借金の状況		教科書①P5~6予習復習	30分
	7	応用 7. なぜ財政は悪化したのか(財政構造の変化) 8. 高齢化により増大する社会保障関係費		教科書①P7~8予習復習	30分
	8	応用 9. 社会保障関係費は今後も増えるのか 10. 諸外国の支出と税収の規模はどうなっているのか		教科書①P9~10予習復習	30分
	9	応用 11. 借金の問題点 12. 金利動向と財政運営		教科書①P11~12予習復習	30分
	10	応用 13. 経済成長と財政 14. 経済成長の持続可能性		教科書①P13~14予習復習	30分
	11	応用 15. こども・子育て政策 16. グリーン・トランスフォーメーション 17. 防衛・安全保障		教科書①P15~17予習復習	30分
	12	応用 18. 日本はどのように財政健全化を図っていくのか 19. プライマリーバランスとは何か 20. 未来のために、今、私たちは何をすべきか		教科書①P18~20予習復習	30分
	13	応用 振り返り		教科書①復習	30分
	14	応用 北九州市の財政を見てみよう		北九州市HP 財政予習復習	30分
	15	総括 今後の財政のあるべき姿を議論してみよう		復習	30分
教科書	基礎:資料配布 応用:①「これからの日本のために財政を考える」、②「日本の財政関係資料」(いずれも財務省)				
参考書	「財政入門」(森田雄一・柳原光芳編著)中央経済社 「財政読本(第6版)」(井堀利宏・土井丈朗著) 東洋経済新報社 もっと知りたい税のこと(財務省)				
成績評価	方法	割合	備考		
	期末試験	60%	論述方式、返却はしません。		
	受講態度	40%	講師が授業中に出す問題に積極的に答えましょう。質問をしましょう。		
	中間確認テスト		中間で確認テストを実施します。未回答者は受講態度点を大きく減点します。		
	授業中の迷惑行為(下記3)		受講態度点を減点します。		
履修上の注意	1. 目頃から、財政、金融、経済に関する新聞記事、TVニュースに興味を持って接するように心がけて下さい。 2. 教科書や配布資料に記載されていること以外の話題に触れることもあります。ノートを準備して下さい。 3. 授業中の私語、居眠り、スマホ・携帯電話などの授業目的以外の操作は迷惑行為として厳禁します。				
実務経験との関連	銀行勤務経験28年、製造業の企業で財務担当役員経験13年を有している。実戦で身に着けた社会保障制度や税制についての実務的知識を通じて日本の財政についての基礎を教える。				
オフィスアワー		メールアドレス			